



F-R e l e a s e

エフ・リリース
NPO 法人 ふじ環境倶楽部 情報誌
VOL. 16 -4 2005. 6月 発行

NPO 法人 ふじ環境倶楽部は、市民・企業・行政のパートナーシップを基本としながら、

- 富士地域の自然及び社会的資源の掘り起こし、磨き上げ
 - 地域資源を活用したまちづくり計画の策定、まちづくり活動の実践
 - 市民団体相互のネットワークの構築 等
- を通じて、市民がこの地域で誇りを持って働き、暮らしていける「資源循環・環境共生型のまちづくり」を目指して、楽しく、ゆっくり、着実に歩んでいます。(平成12年11月9日法人として設立)

◎島田市立第一小学校修学旅行田宿川体験学習

日時：平成17年6月1日(水) 8:30~11:45
生徒(6年生)：40名 先生：3名
参加者：河川委員会(8名) ふじ環境倶楽部(3名)



井出緑地の湧水をゴクリ 「冷たくておいしい!!」



田宿川の湧水保全の歴史を説明(金子さん)



たらい流し初体験(痺れるような冷たい水に1時間も入っていました)



今泉小学校の4年生も見学に来ました

◎「虹のさんぼ橋」転落防止てすりに関する打ち合わせ

富士土木より、橋上に設置されるベンチに立ち上がると、てすりの高さが規定の110cmを確保できないので、ベンチの背面に40cmのてすりを追加することが提案されており、それに対する河川委員会への現場説明が行われた。現状でも規定の110cmが確保されたてすり(欄干)が設置されているので、ぜひ現状のままにして欲しいと依頼したが、富士土木としては、事故時の賠償責任上それは認められないとの回答でした。

日時：平成17年6月1日(水) 13:00~14:15

参加者：富士土木 工事課長 杉本
河川委員会 金子 井出 福石
ふじ環境倶楽部 栗原

「河川委員会からの要望内容」

- ・ベンチを撤去する(てすりを追加しない)
- ・現状と同じ材質のてすりを欄干全体に設置する(ベンチ背面だけでなく)